けやき

龍ケ崎市立城西中学校
学校だより
2020. 7.17 号
文責　根本 清史

313 人（1 年 112, 2 年 99, 3 年 102）
https://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/jyosaichu/index.html

ふたつの “S”

S サイレントロード

みなさんの先輩たちが名付けた「サイレントロード」が復活しつつ」あります。廊下を歩行する際に “静かに歩行して活動の妨げにならないようにしよう！” という意図が込められている活動だと思います。平成 24 年の生徒会ですから，城西中学校の第 29 回卒業生を中心とする生徒会活動になります。（今年度の卒業生は第39回です）10 年前の活動が現在に引き継がれ，周りの人たちに対する配慮ある行為を身につけていくことは，とても素晴らしいことだと思います。左上の写真は 3 年生が自学級以外の活動場所で授業を行い，授業後に教室に戻る時の状況を撮ったものです。職員室前の歩行では、右側を無言で歩きながら教室に移動していきました。移動教室だけでなく，給食当番が配膳室に給食を取りに行く時も同じような光景が続いています。

「復活しつつある」と表現したのは，現在の取組が継続されることで確実に下級生に伝わり，復活から定着となっていき，城西中学校としての素晴らしい取り組みの一つがより意識の高い伝統となっていくことを願っているからです。習慣化された適切な行為は，“あたり前のこと” となっていきます。自分たちの意識の高まりが，より良い城西中学校の生活習慣になっていくことでしょう。２年生・１年生も先輩の行動を自分のものにしていきましょう。

S セイフティロード

城西中学校に車で来るときは，潮来街道から入ってきた道を走行することが多いと思います。朝の交通指導時にお子さんを送る保護者の車を見ていると “危ない” と感じる場面を見かけることが多くなってきました。この道路の制限速度は【40 キロ】となっていますが，あきらかにその制限を上回る速さで学校に向かいお子さんを正門付近で降ろしてから，再び速いスピードで戻っていく車が増えています。

特に雨の日は車の数が多くなっています。生徒は傘をさして歩道を歩いていますが，傘が多少なりとも車道側に出ています。自転車通学者は，歩道の反対側（学校に向かって左側）を走行しているので，道路の左右に城西中の生徒がいることになります。生徒の安全を確保し，安心して登下校ができるようにするためにも保護者の方々の協力が必要になります。

２つの “S” をより確実なものにしていくために，生徒と共に大人である私たち教職員と保護者の方々が適切な行動を示すことが求められています。